

強度行動障害者の
地域移行・定着支援事業
(広域的支援人材配置事業・集中的支援事業)

キックオフミーティング

A society where everyone shines



社会福祉法人 けやきの郷
埼玉県発達障害者支援センター「まほろば」

	集中的支援加算（Ⅰ） 事業所訪問型	集中的支援加算（Ⅱ） 居住支援活用型
 支援の場所	 現在利用している事業所 （通所・入所等の日々の生活の場）	 専門的な体制を備えた施設 （短期入所等）へ 一時的に移行・滞在
 支援の仕組み	 広域的支援人材が 現在の事業所を訪問 （またはオンライン）し、 直接コンサルテーション （助言・援助）を実施する	 受け入れ施設で 集中的な支援 （アセスメント）を実施し、 有効な支援方法を次に 利用する事業所等へ 引き継ぐ
 頻度・加算	 1月に4回まで （原則として3か月以内） 1回につき 1,000 単位 を事業所に加算	 滞在期間中、 1日につき 500 単位 を受け入れ施設に加算 （原則として3か月以内）
 加算Ⅰとの併用	—	 受け入れ施設に対して 広域的支援人材が訪問等を行う場合、 加算（Ⅰ）との 併用が可能

STEP1

地域生活が困難な状態

Before



！ 状態
自傷や他害等の行動が激しくなり、状態が悪化。

課題
現在利用している事業所での支援や、地域生活の維持が難しくなっている。

STEP2

集中的支援の実施
状況に応じた2つのルート

ルートA

現在の利用事業所での支援
(事業所訪問型)



訪問またはオンライン

現在利用している事業所に、広域的支援人材が訪問(またはオンライン)しコンサルテーションを実施。

集中的支援加算
事業所に
集中的支援加算Ⅰ(1回1,000単位)

業務委託
事業所と広域的支援人材が業務委託契約
業務委託料(1回10,000円(仮))

ルートB

専門施設での一時受け入れ支援
(居住支援活用型+事業所訪問型の併用)



登録施設(短期入所等)

訪問し連携

登録施設(短期入所等)へ一時的に移行。受け入れ施設に広域的支援人材が訪問し、連携してアセスメント等を実施。

集中的支援加算
受入施設に
集中的支援加算Ⅱ(1日500単位)
+
広域的支援人材が訪問した場合
集中的支援加算Ⅰ(1回1,000単位)

業務委託
受入施設と広域的支援人材が業務委託契約
業務委託料(1回10,000円)

STEP3

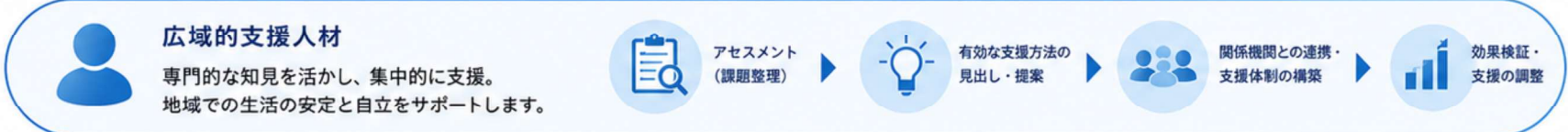
地域生活移行・定着

After



引継ぎ
アセスメント結果や見出した有効な支援方法や、引き続き利用する事業所や新たな移行先の事業所へ共有。

状況に応じて事業所訪問型にて支援を継続





STEP 1

地域生活が困難な状態 (Before)

状態

自傷や他害等の行動が激しくなり、
状態が悪化。

課題

現在利用している事業所での支援や、
地域生活の維持が難しくなっている。

STEP 2 ルート A

集中的支援の実施

事業所訪問型

支援

現在利用している事業所に、
広域的支援人材が訪問（またはオンライン）し
コンサルテーションを実施。

加算

事業所に「集中的支援加算Ⅰ
（1回 1,000単位）」

業務委託

事業所と広域的支援人材が業務委託契約。
業務委託料（1回 10,000円（仮））。



STEP 2

ルート B

集中的支援の実施

居住支援活用型＋事業所訪問型

支援

登録施設（短期入所等）へ一時的に移行。
その受け入れ施設に広域的支援人材が
訪問（またはオンライン）し、連携して
アセスメント等を実施。

加算

受入施設に「集中的支援加算Ⅱ（1日500単位）」
広域的支援人材が訪問した場合には
「集中的支援加算Ⅰ（1回1,000単位）」

業務委託

受入施設と広域的支援人材が
業務委託契約。
業務委託料（1回10,000円（仮））。



STEP 3

地域生活移行・定着 (After)

引継ぎ

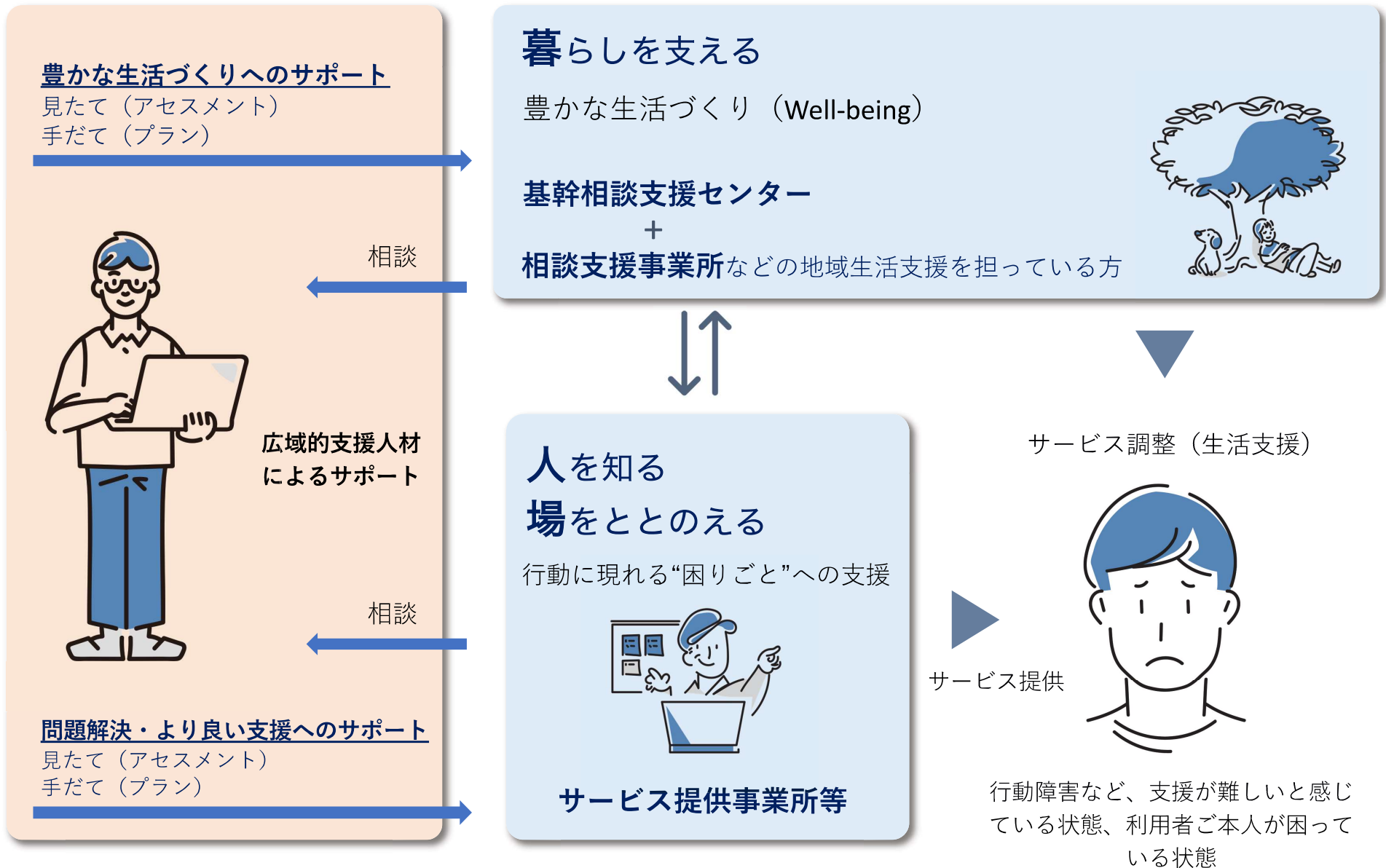
アセスメント結果や見出した有効な支援方法を、
引き続き利用する事業所や
新たな移行先の事業所へ共有。

状況に応じて事業所訪問型にて
広域的支援人材による
コンサルテーションを継続

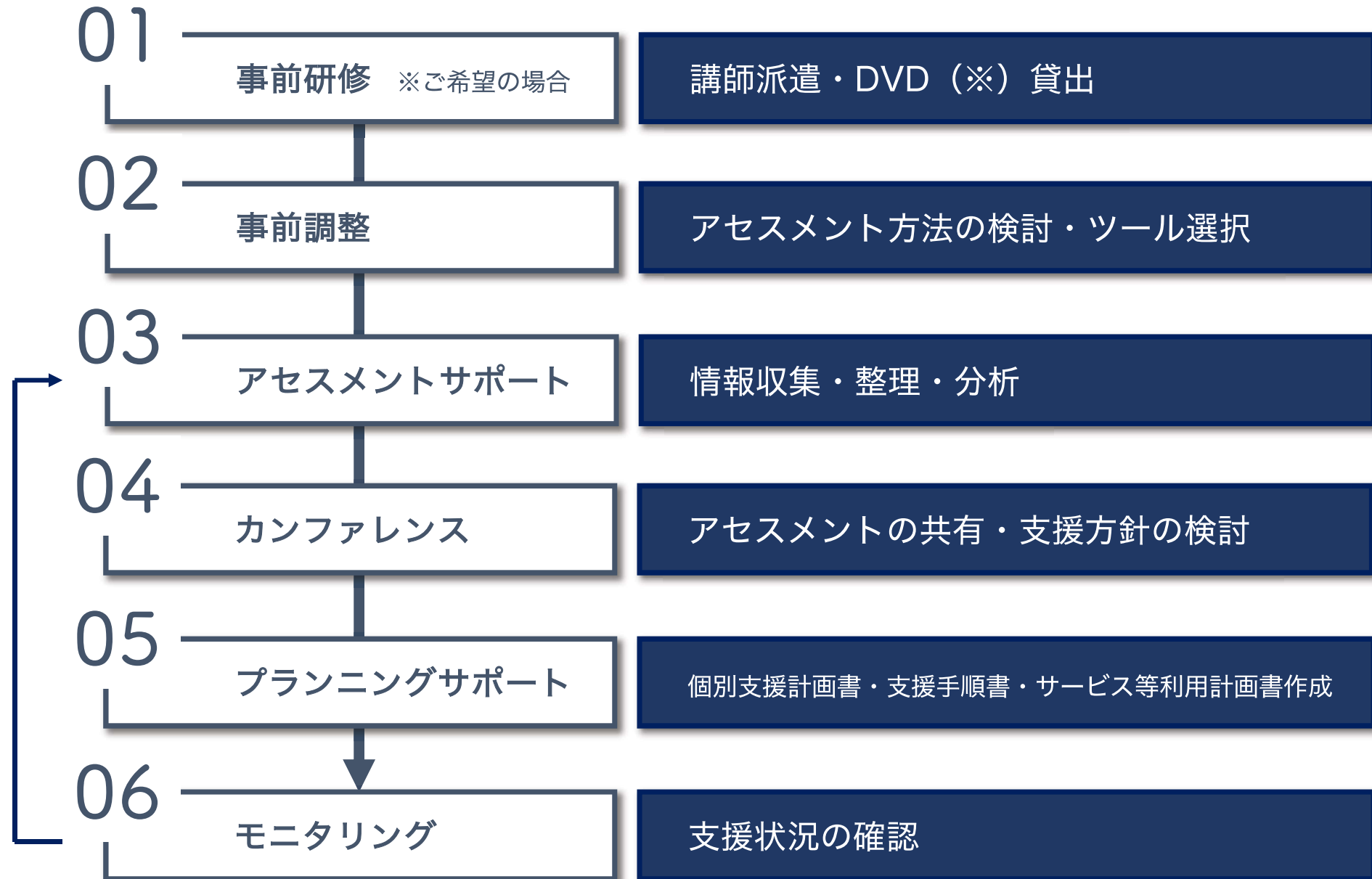


事業所訪問型支援の考え方とイメージ

〈社会モデル・生活モデルの視点に立ち、相談支援・直接支援の双方を支え、生活全体を支える支援の実践を促進〉



事業所訪問型支援の基本的な流れ



※埼玉県発達障害者支援センター「まほろば」において制作した、強度行動障害支援に関する基本的な考え方や支援方法等を整理したDVD

01 特性・発達



- ✓ 太田ステージ評価
- ✓ Vineland適応行動尺度
- ✓ 感覚プロファイル
- ✓ PARS
- ✓ 知能検査 (WISC・WAIS)
- ✓ 特性確認シート (冰山モデル)

02 環境



- ✓ ICF
- ✓ ストレngths・アセスメント
- ✓ 環境確認シート (冰山モデル)

03 行動



- ✓ 機能分析 (MAS)
- ✓ ABC分析
- ✓ 異常行動チェックリスト (ABC-J)
- ✓ 行動チェックシート (冰山モデル)

医療・精神

04



- ✓ 医学的な視点での評価 (DSM、ICD)
- ※「まほろば」が医師を招聘して実施している事例検討会を活用した評価など

多角的な
アセスメントを
総合的に活用し、
支援の質を高める

4つの視点をつなぎ、総合的にアセスメントすることで、一人ひとりに最適な支援へ

4つのネットワークが交わり、埼玉県全体で支える体制へ



関係機関等と連携した
コーディネートが円滑化。
広域的支援人材間での
知見共有による、県内全域に
おける質の高い支援の
均てん化。

1

**広域的支援人材の
ネットワーク**



2
**基幹相談支援センターの
ネットワーク**



地域の相談支援事業所との
連携・協働を主軸とした
体制強化。
地域移行・定着支援と地域の
コーディネート機能を
シームレスに接続し、包括的に
支えるマネジメント体制の構築。



埼玉県全体で支える
重層的なネットワーク



拠点コーディネーターと
連携した地域生活の
体験機会の創出。
状態悪化時に備え、短期入所等を
活用した緊急時の迅速な
受け入れ体制の整備。

**地域生活支援拠点等
コーディネーターの
ネットワーク**



**居住支援活用型の
実施事業所の
ネットワーク**



専門施設での一時利用における、
集中的なコンサルテーションと
支援の再構築の一体的実施。
受け入れ事業所の支援の質向上と、
移行先等との連携強化。

3

4

特定の事業所だけで抱え込まず、県全体で支える持続可能な支援体制の実現へ

誰もが輝く社会

A society where everyone shines

支援者が輝くことで、
障害のある方も輝く未来へ。



強度行動障害者の
地域移行・定着支援事業
(広域的支援人材配置事業・集中的支援事業)

社会福祉法人けやきの郷
埼玉県発達障害者支援センター「まほろば」